

## 運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

## 1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	石濱 千秋	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

## 2. 開催日時・場所

日時	令和 7年 1月 10日13時30分 ~14時	場所	医師会館理事長室(オンラインと併用)
----	-------------------------	----	--------------------

## 3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
木下 均	地域住民の代表者	中川連合町内会 会長
石井 広美(欠)	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司(zoom)	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
小林 雅子(欠)	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
栗栖 純穂	当該サービスに知見を有する者	センター北 ユア クリニック 院長
菅井 直樹(zoom)	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
深澤 立(zoom)	当該サービスに知見を有する者	都筑区医師会代表理事
石濱 千秋	事業所職員	管理者
青柳 かおる	事業所職員	副管理者
佐藤 恵理	事業所職員	看護リーダー
前田 仁美	事業所職員	介護主任
倉持 弥菜	事業所職員	介護
後藤 瑞佳	事業所職員	事務
加藤 萌子	事業所職員	事務

#### 4. 活動状況報告

別紙(様式2~4)のとおり

(裏面あり)

#### 5. 活動状況に関する評価・意見・要望

①年末年始に職員の感染性胃腸炎、コロナ感染などがあり、お休みが多く、対応に苦慮した。  
⇒インフルエンザが猛威なので、みなさん体に気をつけてください。  
⇒患者も含めてインフルエンザが流行っていて影響がでています。業務も気をつけてください。  
⇒職員もインフルエンザになり、普段の業務の中にはリモート出来ない部分もあるので、皆さん気をつけて頑張ってください。

#### 6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

【インシデント・アクシデントレポートについて】  
出席者より、特に意見等はありませんでした。  
貼付薬の貼り忘れについては、基本に忠実に、スタッフとマニュアルを再見し、マニュアル通りに実施していくことを再確認しました。

#### 7. 地域からの情報提供

特になし

#### 8. その他特記事項

特になし

※ 会議は原則事業所内で行ってください。  
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

活動状況報告書(看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	石濱 千秋	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況 令和 6 年 12月

登録者数( 12月 31日現在)	女性 16名	男性 4名	計 20名					
要介護度	要支援1 0名	要支援2 0名	要介護1 1名	要介護2 4名	要介護3 1名	要介護4 3名	要介護5 11名	申請・区変中 0名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者(匿名)	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	12	0	20	4 (訪問看護)
イ	3	2	2	0
ウ	8	0	16	2
エ	24	2	0	2
オ	18	0	33	2
カ	4	0	35	25
キ	8	3	4	27
ク	8	0	3	16
ケ	9	0	5	27
コ	24	21	4	7
サ	9	7	1	2
シ	5	0	11	13
ス	11	2	18	5
セ	22	12	8	31
ソ	25	22	7	67
タ	31	30	2	84
チ	8	1	13	18
ツ	12	3	24	0
テ	8	0	36	4
ト	12	4	27	0
ナ				
ニ				
ヌ				
ネ				
ノ				
ハ				
ヒ				
フ				
ヘ				
平均	13.05	5.45	13.45	平均要介護度 3.95

(裏面あり)

#### 4. 運営方針

事業所の目標	1.看護・介護の連携強化及び同法人内事業所と一体的に協力体制の維持。 2.安心で安全な質の高いケアの提供を行うために、職員教育を充実させる 3.看多機について普及啓発の継続/地域住民との連携/街づくりへの参画
目標に向けた 具体的取組	1合同カンファレンスの継続、伝言ツールの利用継続等による情報共有 2-1)介護職員の医療的ケアの理解を深める(研修の実施) 2-2)終末期ケアの理解を深める(研修等の実施、外部研修参加等) 3主治医や地域包括支援センター等との連携の強化・情報発信、イベント開催

#### 5. 活動報告

【11月】 ・安全衛生委員会・管理者会議(11/11) ・運営推進会議(11/8) ・高齢者施設リスクマネジメント研修出席(11/19横浜市看護小規模多機能型居宅介護連絡会主催) ・都筑区看護・小多機能連絡会(11/21) ・運営推進会議・運営会議・喀痰吸引会議・身体拘束/虐待報告検討会議・BCP策定会議・感染症対策委員会(11/28) ・アート活動「Kitpas×K-ART」(11/15) 【12月】 ・管理者会議(12/9, 12/23) ・運営会議・喀痰吸引会議・身体拘束/虐待報告検討会議・感染症対策委員会(11/26) ・クリスマス会(12/13) ・アート活動「Kitpas×K-ART」(12/20)  毎週水曜日:ヘルパー/看護会議:(内2回合同会議/カンファレンス) 毎週木曜日:一体化会議
--

#### 6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	・21時過ぎ、ベッド右側下方に転落していたところを職員が発見 ・本人の意識レベルの変化なし、疼痛の反応なし、バイタルサインに変化なく、家族に報告する ・かかりつけ医の臨時往診してもらい、このまま経過観察していくこととなる。意識状態の変化等見られたら病院受診となる。その後は変化なく経過している。
改善策	・部屋を離れる際は最低床にする。 ・注入等でギャッジアップしている時は、訪室頻度を増やす ・家族とスタッフの検討の結果、転落防止のため、右側の足元にベッド柵をする。
内容	・車いすにてデイルームに滞在していたところ、床に転落していたところをスタッフが発見 ・本人の意識レベルの変化なし、疼痛の反応なし、バイタルサインに変化なく、家族に報告する ・かかりつけ医の臨時往診してもらい、このまま経過観察していくこととなる。疼痛等の変化等見られたら病院受診となる。その後変化なく経過している。
改善策	・リハビリセラピストによる、車いすの姿勢・座り方の評価をしてもらい、フットレスト、背張り等の調整を実施。 ・食事時間以外は車いすをティルトリクライニングの姿勢にする
内容	・通いサービス利用時、貼付薬を貼り忘れていることをご家族より指摘を受ける。 ・主治医に報告し、経過観察となる。
改善策	・昼分の薬を事務所からデイルームに持ち出す際、確認者欄に印がない時は、連絡帳を再度確認する。

#### 7. 地域への情報提供

クリスマス会の演奏会の動画紹介、やさしいK-ART作品紹介
-------------------------------

#### 8. その他特記事項

特になし
------